



バランスのちから

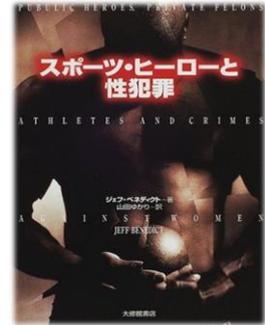
The Power of Balance

永田 円了

一芸に秀でた者が果たして、その究めた技能に相応しい人格を有しているのだろうか。否、必ずしもそうとは言えないのである。

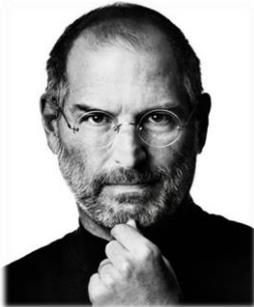
「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」A Sound Mind in a Sound Body という。実はこれは、誤訳である。この諺の作者、古代ローマの詩人・ユウェナリスは、若者が身体を鍛えるだけで勉強しないことを嘆き、「健全なる肉体には、健全なる精神も宿ってほしい」と言ったのである。

身体能力を極めたトップアスリート達の犯罪が後をたたない。違法ギャンブルに走る者、性犯罪を犯す者など、詳しくは「スポーツ・ヒーローと性犯罪」(大修館書店)を参照されたい。要は、精神と肉体のバランスをどうとるのか。その技能・才能が如何に磨かれようとも、一方方向に偏った思考は、偏ったものの見方しかできない。そこに問題があるのである。



鶴の目、亀の目

アップルコンピュータを立ち上げたスティーブ・ジョブズ (享年 56 歳)、かくも多くの革新的なワクワクする商品をこの世に送り続けた。その原動力は一体どこから生まれたのだろうか。



「夢を実現できるかどうかは、途中で諦めるかどうかにかかっている」「貴方の心は本当になりたい自分をすでに知っているはず。それ以外のことは、人生においてたいしたことではない」という、不屈な精神哲学もさることながら、ジョブズの仕事に対する姿勢にはバランスのとれた、次の二つの視点があった。

鶴の目：高所から全体を見る目である。物事を課題として捕らえ、これからの社会はどうあればいいのか、そのためには、どのような商品が必要とされるのか。その商品は果たして夢を提供できるのか、という視点。

亀の目：細部にわたって妥協をゆるさない視点。iPod のウラ蓋を磨くのに、日本の新潟の小さな研磨工場を選ぶというこだわりを見せた。一見気付かないウラ蓋にまで完璧性を求めたのは何故か。この問いにジョブズは次のように答えている。「それは人間の感性に対するリスペクト(尊敬)である」と。

テクノロジーと美しさの融合、まさしく“バランスのちから”が IT 産業を席卷したのである。

<事例 DVD 等>

『スポーツ・ヒーローと性犯罪』 大修館書店 2000 年
 ゆらぎ/正常な人の心電図では、揺らぎがある
 映画『リトルブッダ』弦は張りすぎても、ゆるめ過ぎても
 いい音色は出ない、中道に目覚める
 映画『スティーブ・ジョブズ』2014 青春時代のジョブズ
 スティーブ・ジョブズ 1995~失われたインタビュー2014
 歌・ビートルズ/She's Leaving Home /デジタル表現
 歌・高橋真梨子/別れの朝/アナログ表現

円了のホームページ：www.enryo.jp



神道と仏教の融合・バランス